

保護者会連合会だより

平成31年3月15日発行 No. 2

寒かった冬も少しずつ暖かくなり、春がだんだん近づいていると感じられる時季となりました。

さて、今年度の保護者会連合会の活動も、残りわずかとなりました。年度末にあたりまして、今年度の活動報告をさせていただきます。



平成30年度を振り返って

益田市保育研究会保護者会連合会
会長 石川達也（まるに保育所）

もうすぐ任期終了を迎えようとしておりますが、改めて1年を通して活動した内容を振り返ってみたいと思います。

就任してすぐに取り掛かったのは保護者の皆様へのアンケートでした。役員の皆さんと協議を重ねる中、園児、保護者、保育園が抱える問題は数多くあることがわかり、アンケート集計結果からもそのことを痛感しました。要望書提出の際には、役員の皆さん一人ひとりが自分の言葉で精一杯要望を伝え、益田市長からも丁寧な回答を頂きましたが、これからも継続して要望を伝えていかなければならないと感じています。

研修事業についてですが、本来なら連合会単独で企画しなければならなかったのですが、開催日程を調整する過程で単独企画は難しいということになり悩んでいたところ、島根県教育委員会が中心となって開催する「早寝早起き朝ごはんフォーラム」が益田市にて行われることを知り、連合会の研修事業として参加させていただこうということになりました。当日は多くの方にご参加いただき大変意義ある講演を聞かせていただきましたが、中でも食に関する講演は心に響く内容で私自身も気付いたら涙を浮かべながら聞き入っていました。

親子対象事業は多くの方に来ていただくためには何が良いかという視点で話し合った結果、劇団角笛さんをお招きすることになりました。影絵とはどんなものだろうかと期待と不安がりましたが、見させていただくとあまりの完成度の高さに驚き感動しました。当日は連合会役員の方の呼びかけにより地域の方にお店を出店していただき、雨にもかかわらず沢山の方が利用され、同時開催された影絵製作も多くの子供たちが参加し、大変賑やかなものとなりました。ご協力頂いた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

以上が大まかな連合会活動の振り返りとなりますが、変化し続ける社会の中で園児、保護者、保育園を取り巻く状況も変わり続けています。その中で親である私たちも子供にとって何が最善なのか、何をしてあげられるかを常に考え努力し続けねばならず、その一つの形が連合会活動であると感じます。今後も益田の育児環境が発展していけるよう皆様の保護者会連合会へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、共に頑張った保護者会連合会役員の皆さん、いつもサポートして頂いた保育研究会の先生方、関係機関との交渉や事務処理を的確にして頂いた事務局の檜谷さん、1年間本当にありがとうございました。

◆要望書提出 平成30年10月25日

今年度も益田市内認可保育所(園)・認定こども園の保護者を対象にアンケート調査を実施し、655件の回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。保護者会連合会及び益田市保育研究会ではこのアンケート結果を集計し、生の声をまとめ益田市へ要望書として提出いたしました。

尚、アンケートの自由記入欄に頂いたご意見は、すべて市へ提出しております。

要望書提出

副会長 齋藤淳哉(匹見保育所)

平成30年10月25日、保育研究会保護者会連合会は、今年も益田市長へ要望書を提出しました。

なるべく皆様の声を反映できるよう、事前に保護者の皆様へアンケートを実施し頂いた多数のご意見や要望等を取りまとめ、要望書を作成しました。前年までの要望も踏まえ、意見も出し合い、仕事に追われながらも、良い内容のものが検討できたと思います。

当日、普段足を踏み入れることのない市役所会議室にて、開始時間を待つ間、自分を含め皆さん緊張した面持ちに見えました。待つ間に他愛無いトークで緊張を解せる・・・訳でもなく、そうこうしている間に山本市長が入室されて、いよいよ開始となりました。要望書提出から各項目の説明を連合会会長に続き各役員の方々から行いました。今回予定時間30分と聞いていましたが、それぞれの役員が思いを乗せて説明した結果、予定時間を超えた熱の入ったものとなりました。しかしあっという間の時間でした。通常業務を抜けて来られたり、仕事でほとんど寝ていないまま出席された役員さんもあり、本当にお疲れ様でした。

回答については、益田市の現状から、正直皆様の要望に全て応えるには難しいと思われまます。ですが、保育料の負担軽減や病児・病後児保育の充実、放課後児童クラブの整備など、少しずつではありますが改善が進んでいる状況です。予算には限りがありますので、優先して何を整備し、費用を掛けなくても何か他にできることがないか等考えることも必要で、子育て世代の方々と一緒に考えて考えや声を届けて動き続けることが大切だと思いました。益田で安心して子育てができる環境を目指して、今後も継続して活動していきましょう、と思いつつ、今後に思いを託して陰ながら応援していきたいと思ひます。

今回、連合会役員という、重たくて、そして貴重な経験の場を提供していただき、大変ありがとうございました。そして保育研究会の先生方、連合会の皆様、大変お世話になりました。



要望に対する回答について

平成30年11月28日

益田市長 山本浩章

(子ども福祉課)

平素より、本市福祉行政に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、子ども・子育てを取り巻く状況は、社会環境の変化等に伴う核家族化や就労形態の多様化などにより、保育・子育てニーズが増大・多様化しています。

このような状況の下、全国的にも依然として保育施設や放課後児童クラブの待機児童問題、保育士不足等をはじめとした様々な課題が山積している状況です。

本年度においては、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等が改正となり、幼児教育において育みたい資質・能力の明確化や保幼小接続の推進等について示されており、市としまして、より一層の子育て環境の充実を図っていく必要があると考えております。

また、国においては、来年10月から「保育料の無償化」の方針が示されており、今後その動向を踏まえた対応を検討しているところです。

貴会より頂きました要望に関しまして、次のおり回答いたしますので、ご理解とご協力の程よろしくお願ひ致します。

一 益田市特定教育・保育に係る保育料負担額等の軽減

- ・保育料の無償化に向け、更なる保育料負担軽減をお願いします。

【回答】

保育料の無償化については、国において消費税率引き上げ時の2019年10月1日からの実施が検討されています。具体的には、幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子ども達の3歳から5歳の全ての子ども達の利用料が無償化され、0歳から2歳の子ども達の利用料については、住民税非課税世帯を対象に無償化となる予定です。

国においては、その他にも認可外保育施設等を利用する子ども達の利用料や障害児通園施設を利用する子ども達の利用料を全額無償とすることや、一定の限度額までを無償化する等の方針が示されています。

具体的には、年末にかけての予算編成や来年の国会審議等の過程で、具体的に示されるものと聞いております。

益田市では、平成28年度から多子世帯の第3子以降の3歳未満児（3号認定子ども）の保育料を1/2軽減から無料としております。

国が保育料の無償化を検討している中であって、新たに益田市単独での保育料の負担軽減措置を実施することは難しい状況です。

二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、島根大学医学部地域推薦枠を活用した小児科医・産婦人科医の人材確保をお願いします。

【回答】

医療体制の充実・医療従事者確保につきましては、市の最重要課題のひとつとして、関係機関と連携して様々な施策に取り組んでいます。産婦人科、小児科の分野につきましては、いつでもどこでも安心して生活ができる環境を整える上で重要な分野であると、強く認識しているところです。

市では、島根県や島根大学医学部との間のパイプを継続して構築し、連携して医師確保に向けた取組みを行う体制を整えていきます。

まず、産婦人科については、島根大学医学部産科婦人科から益田赤十字病院へ3名の医師の派遣を受けており、平成29年度益田市の分娩件数は、全体で370件、うち79件の里帰り分娩を受け入れることができています。今後もこの体制を維持できるよう努力してまいります。

一方、小児科については、島根大学医学部小児科の医師の減少によって、平成28年4月から、益田赤十字病院の小児科医は4名体制から3名体制となっています。そのことにより、市民の皆様の多大なご理解ご協力の中で、外来診療の完全予約制や予防接種件数の制限等の状態が現在も続いています。毎年、市長が島根大学医学部小児科に出向き、市の厳しい現状を伝えておりますが、島根大学医学部小児科の医師数が増えていないことから、当面3名体制での診療が続くことが予測されます。

島根大学医学部地域枠推薦におきましては、現在、8名が医師となり、益田赤十字病院に5名の医師が勤務しています。残る3名も、現在は大学病院で勤務しているものの、過去に益田市での勤務経験があり、今後も近い将来益田市で勤務することを希望しています。医学生は現在10名となり、専門診療科の選択については、小児科、産婦人科も含めた益田市で必要とされる診療科にするよう伝えていきます。

小児科医、産婦人科医等が疲弊し、診療体制の崩壊を招くようなことがないよう、今後も更に関係機関との連携を深め、医師確保に向けた取組をすすめるとともに、市民の皆様と力を合わせて医療従事者も市民も安心で幸せを実感出来るまちづくりを推進してまいります。

- ・子どもの医療費の助成制度について、県内他市と同一となる不公平感の無い助成をお願いします。

【回答】

子ども医療費の助成については、全国的な制度となっていないなか、乳幼児等医療費助成事業は県補助金を活用して実施されているところです。また自治体ごとに上乗せの制度内容が異なり、一部の市町村では保護者負担が無料であるため、保護者の方が不公平感を感じておられるのだと推察します。市としましては医療体制の確保と同様、子育て中の保護者に対する経済的負担の軽減は必要だと考えておりますが、財政状況に鑑み、子育て施策全体のなかで財源配分をしているところです。子ども医療費の助成のあり方については、今後も全国的な制度として拡充を図ることや対象年齢の引き上げなど、市長会等を通じて要望し、助成事業の安定化と充実を図るよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

- ・子育て世代の負担軽減として、インフルエンザなどの任意予防接種に対する助成をお願いします。

【回答】

現在、益田市では、予防接種法に基づく定期の予防接種に対して公費助成を行っております。高齢者の予防接種は一部自己負担を頂いておりますが、乳幼児及び、小・中・高校生を対象とする11種類の予防接種につきましては、全て無料で接種できるよう予算の確保をしているところです。

ご要望の任意の予防接種につきましては、乳幼児を対象としたものとして、毎年接種の必要があるインフルエンザや、接種料金が高額となるロタやおたふく等があり、接種の際にはかなりの負担となっていることも認識しております。

しかしながら財源の問題もあり、市といたしましては、まずは、定期の予防接種を対象となる方へ確実に実施していくことに力を注ぎたいと考えており、任意の予防接種への助成は、現段階では困難であると判断しております。

これまでも、任意接種であった予防接種が安全性・有効性の検証が進み、順次、定期接種化されてきており、次期候補としては、おたふくやロタワクチンの検討が進められております。今後も引き続き、国の動向を注視してまいりたいと存じます。

三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

・「ますだ子育て応援宣言企業」の登録をより積極的に促すなど、安心して仕事と子育てが両立できる差別や偏見のない労働環境となるよう、各事業所への啓発を行うとともに、子育てに理解のある事業所・雇用主への積極的支援をお願いします。

【回答】

「ますだ子育て応援宣言企業」の登録事業者数は、現在17事業所となっております。

今後も仕事と生活の調和を推進し、子育てにやさしい職場づくりに積極的に取り組む事業所について、「ますだ子育て応援宣言企業」への登録を呼びかけてまいります。

その一つの方法として、市で取り組んでおります「益田市UIターン者サポート宣言企業登録制度」の登録が現在53事業所ありますので、その事業所に対して登録をお願いします。

また、労働環境の整備についても、商工会議所等の関係機関と連携しながら、引き続き、各事業所への周知・啓発を進めていきます。

・病児・病後児保育について、更なる広報の充実と流行期の受入れ体制の充実をお願いします。

【回答】

病児保育事業の実施施設である病児保育室「ぞうさんのせなか」についての広報について、市では、市内の保育施設へのパンフレットの配布やポスターの掲示、乳幼児健診時においてもパンフレットの配布を実施して周知を図っているところです。

また、業務委託先である「暁ほほえみ福祉会」では、どのようなところで、どのような人に子どもを預けることになるのかを保護者自ら確認することを目的に、見学会の開催を実施していただいております。その際には、市も広報への掲載や告知端末等を利用した周知を実施しているところです。

病児保育室については、平成29年9月から定員を4人から6人に拡充し、益田赤十字病院の敷地内に移転して開所しております。

受入体制の充実について、少しでも多くの児童を受け入れることができるように、委託業者である「暁ほほえみ福祉会」が主導となり、指導医である益田赤十字病院小児科医の三浦先生に部屋の間仕切り等についての相談を行い、実際にカーテンによる仕切り等の工事を実施して対応しているところです。

また、流行期には、同じ児童の連続利用や兄弟姉妹の同時利用が発生していることから、少しでも保護者負担の軽減を目的に、利用料金を半額にする軽減措置も平成30年4月から実施しているところです。

病児保育室の増設や新規設置については、現在の利用状況を勘案しても直ぐには対応が難しい状況です。

・子ども達が安心して通学できるよう、危険箇所の整備など通学路の安全対策の強化をお願いします。

【回答】

益田市では、通学路の安全確保に関する取組方針をまとめた「益田市通学路交通安全プログラム」に沿って通学路の安全対策を実施しています。

毎年、各校で抽出された危険箇所について、道路管理者や警察などの関係者で合同点検を実施して改善・充実を図っています。

また、今年度は、平成30年5月に新潟県において発生した児童殺害事件を受けて、9月下旬に「防犯に観点をおいた通学路緊急点検」を別途実施しました。通学路点検には、学校・警察（生活安全課）の他に、地域で見守りに関わる住民などにも参加していただき、安全対策について検討いたしました。

交通安全の観点における危険箇所の整備については、過去の通学路点検により少しずつ改善してきていますが、今後も引き続き、危険度に応じて国・県や市の道路管理者、警察の交通課（公安委員会）へ要望し改善を図ってまいります。

四 公共施設の整備・充実

- ・雨天時でも子ども達が体を動かして遊べる屋内型遊戯施設の整備をお願いします。

【回答】

現在ある、各小中学校の体育館や公民館の体育館を開放していますので、そちらをご活用していただければと思いますし、より活用しやすい環境について検討していきたいと考えております。

五 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブ施設の充実、職員の増員、開所時間の更なる延長をお願いします。

【回答】

安定した児童クラブの開設場所を確保するため、吉田地区放課後児童クラブ（トマト児童クラブ）の施設整備を本年度から開始しました。平成32年度からの供用開始に向けて、現在準備を進めております。

また、鎌手地区の保護者及び地域の方からの要望により、本年度から「鎌手児童クラブ」を設置しました。家庭と仕事が両立できる支援として、また、子どもが安心して過ごせる施設の充実に向けて今後も検討を行ってまいります。

- ・延長利用の料金設定の見直しや小学校の長期休業中のみの利用希望への対応など、より柔軟に利用できるよう制度の充実をお願いします。

【回答】

延長利用料につきましては、本年度から1世帯あたり月額1,500円と見直しを行いました。引き続き、市の財政状況などを踏まえながら制度の充実に向けた検討を行ってまいります。

六 子育て世代のUIターン者への支援の拡充

- ・UIターンを希望する子育て世代向けに、新たな制度の創設や現在のUIターン者支援事業等の拡充をお願いします。

【回答】

現在、益田市ではUIターンをされた方に対して、「UIターン者定住奨励金」を交付し益田市での新たな生活のスタートを支援いたしております。この奨励金では、子育て世代の支援として若者加算、子育て加算、企業就職加算等を設け交付をいたしております。

また、学校を卒業後すぐに益田市内の企業に就職された方についても、「新卒者就労奨励金」を交付し、益田市への回帰、定着を支援いたしております。

併せて、UIターン者の益田市での生活を支え、定着を促すため、「ますだ暮らしサポーター登録制度」及び「UIターン者サポート宣言企業登録制度」をスタートさせており、行政だけでなく、企業や地域が丸となってUIターン者を支援する体制の構築に努め、取組みを進めております。

人口拡大に向けては、UIターン者の受け入れはもとより、定着支援が大きな課題となっております。11月30日には、市内にUIターンされた方を中心に、ますだ暮らしサポーター、UIターン者サポート宣言企業、行政が一堂に会し、UIターン者大交流会を開催します。

こういった場を含め、UIターン者やUIターン者を支える方々の声を聴きながら、UIターン者に対する支援を進めてまいります。

七 外国人家庭の受け入れへの支援

- ・様々な困難を抱える外国人家庭への支援はもちろん、受け入れる各施設への支援をお願いします。

【回答】

平成30年10月1日現在で、保育所や認定こども園等に入所中の外国人の児童は7名となっております。

市としては、国籍の如何に関わらず、外国に繋がりのある子育て家庭に対して、生活保護や貸付金の相談、年金や手当、病院受診や住宅相談、離婚や債務整理に係る弁護士相談など、それぞれの家庭の状況に応じて関係機関と連携して対応しているところです。

保育所や認定こども園等においても、外国につながる家庭を受け入れ、ご配慮いただいているところですが、市として財政的な支援や人的な支援が十分できていない現状があることも認識しております。

今後、益田市においても益々国際化が広がって行くことが予想され、様々な課題への対応が必要となってくることから、保育所や認定こども園等だけでなく、市全体の問題として捉え、その対応方法等について検討してまいります。

研修事業（早寝・早起き朝ごはん）

監事 奥迫孝司（原浜保育所）

1月27（日）益田ジュンテンドージャストホールで開催されました、早寝・早起朝ごはんについての研修事業が行われ、益田市内の保育、幼稚園や小学校での取り組みなどの紹介に初めて触れる事ができ、これから小学校に就学する子供もおりますので非常に興味深く拝見させていただきました。

そして今回は、基調講演がネット依存についてという事で、ネット依存が現在社会的に問題になっている事は少し認識はありましたが、（定義・症例・原因・治療法）などのお話を初めて聞くことができ非常に有意義な時間でした。自分も含めてこれからの子供に対しての、インターネットやSNSに対する教育など非常に参考になる内容でした。

※平成最後に縁あって保護者会連合会の役員をさせていただきましたが、意外とあっという間に時間が過ぎました。大した事はできませんでしたが、貴重な経験をさせていただきましたありがとうございます。



研修事業に参加して

監事 永谷耕二（都茂保育所）

1月27日にジャストホールで行われた「早寝早起き朝ごはんフォーラム in しまね」の食に関する分科会に参加しました。食育を実践されている吉田南小学校の宮藤みどり先生と佐世保市の福田泰三先生がお話されました。

子供たちが自分で弁当を作ったり、みそ汁を作れるようになることを通して、自分たちにもできるんだという思いや、お家の人への感謝の気持ちが増えてくるとともに、親から子供にもありがとうやうれしいという言葉が増える。子供たちは親にあこがれているので、親のまねがしたい、お手伝いがしたいという気持ちがある。いっしょに料理や家事をして手伝ってくれてありがとうという気持ちを伝えると、親も子も幸せを感じ、家庭のありがとうが地域まで広がるというお話でした。

最後に小学一年生のときから学校や家庭で食の活動をしてきた吉田南小学校の児童が発表してくれて、「お母さんに感謝できるようになってうれしい」、「食を勉強して良かった」と言っていました。食育の力はすごいなと思いました。

◆親子対象事業「劇団角笛シルエット劇場ないた赤おに」

平成31年3月3日

劇団角笛「ないた赤おに」

副会長 城市昌太郎（益田ひかり保育所）

3月3日（日）にふれあいホールみとで行われました、影絵の専門劇団である劇団角笛による「ないた赤おに」を上映して頂きました。

切ない物語ですが、子供達も保護者の皆さんも楽しんで観ているのが印象的でした。

私自身影絵を初めて観させてもらいました。

色鮮やかな絵に驚きと感動で、家族で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

その他にも体験コーナーで、木のおもちゃの展示や影絵制作の体験をしている子供達が、大変微笑ましい光景でした。とても充実した一日でした。

各関係者の皆様、大変お世話になりました。

ありがとうございました。



劇団角笛シルエット劇場

理事 竹田正輝（鎌手保育所）

3月3日にふれあいホールみとで角笛シルエット劇場「ないた赤おに」が行われましたが、天候の悪く中、多くの方々にご参加いただきありがとうございます。

絵本でしか見たことがない「ないた赤おに」がシルエットに映し出されることで、絵本とは全く違った感動、動きがあることの面白さが自然と笑顔になり話に夢中になりました。

手で出来る影絵も親子で楽しむことが出来ました。

また、影絵制作体験では自分で作った作品で影絵を楽しむことが出来たり、木のおもちゃも木のぬくもりを感じながら小さい子どもたちでも夢中になりながら楽しんでくれました。

会場から出てくる皆さんの笑顔を見て、親子で楽しむ時間を少しでも作る事が出来たと思い、嬉しく思います。

そして当日会場を盛り上げてくださった保育所の先生方、地域の皆さんにも感謝しています。ありがとうございました。

親子対象事業を振り返って

理事 村岡 宙（真砂保育園）

3月3日ふれあいホールみとにて、劇団角笛によるシルエット(影絵)劇場をメインとした親子対象事業を開催しました。当日はホールに到着すると屋外に飲食屋台がずらり、屋内では影絵制作体験に木のおもちゃコーナーと盛りだくさんの内容で、ご参加いただきました500名以上の皆さんにはゆっくりと楽しい時間を過ごしていただきました。

角笛による演目は『ないた赤おに』と『つのぶえのうた』、巨大スクリーンに投影される影絵なのですが、人形にはカラーセロハンが使用されており色彩豊かで、様々な光が角度を変えて照射されるため、スポットやフェードなどの効果もありました。また人形が動き物語が上演されるのですが、舞台裏では団員皆さんの一糸乱れぬ動きがあり、これによって人形に多彩な表現があり正に劇場でした。

影絵制作体験では、切り抜いた型にカラーセロハンを貼り人形を制作します。出来上がった人形はスクリーンに投影でき、影絵の仕組みを体験できるものでした。こちらは制作机が参加者でいっぱいになるほど賑わっていました。また屋外では、地元の有志と商店による7店舗もの飲食店が軒を連ねていました。時折小雨がある中ではありましたが、どちらも長い列ができるほど盛況でした。

このようにたくさんの方にご協力、ご参加いただき事業は大成功だったと思います。ありがとうございました。



平成30年度 保護者会連合会役員

会長：石川達也（まるに保育所）

副会長：城市昌太郎（益田ひかり保育所）、齋藤淳哉（匹見保育所）

理事：村岡 宙（真砂保育園）、竹田正輝（鎌手保育所）、本松義範（明星保育園）

監事：奥迫孝司（原浜保育所）、永谷耕二（都茂保育所）

顧問：益田真典（遠田保育園）、大霜雄紀（めばえ保育園）、中尾友哉（すみれ保育園）